

## 事 後 評 価 書

事業名	小山浦地区海岸 高潮対策事業	事業区分	海岸事業 (国土交通省)	室名	港湾・海岸室
事業概要	工期 (下段当初)	平成11年～平成18年	全体事業費 (下段当初)	1,607百万円(負担率:国1/2:県1/2)	
		平成11年～平成18年		1,540百万円(負担率:国1/2:県1/2)	
事業目的及び内容	<p>事業目的: 小山浦地区海岸は熊野灘沿岸のほぼ中央付近に位置し、背後地は民家が密集している。当地区は、過去に度重なる災害を受け、堤防前面に消波ブロックを設置するなど海岸保全を図ってきましたが、台風・低気圧の通過に伴う高潮・高波浪による越波被害が頻発しており、背後地住民は不安にさらされています。このため、離岸堤による海岸保全対策を行いました。</p> <p>事業内容: 整備延長 L=220m 離岸堤 L=220m(1基)</p> <p>事業経緯: 平成11年度 事業着手 平成11年度～平成18年度 離岸堤 平成18年度 事業完了</p>				
1・過去の再評価時の意見およびその後の対応					
再評価対象事業の要件に該当しない。					
2・事業の効果					
2-1 事業の効果					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海岸整備前は、高波浪時に越波による被害が度々生じていたが、平成18年度の事業完了後、多数の台風が上陸ないし接近したものの、当海岸では海岸保全施設及び背後の施設等に被害は発生せず、防護機能を発揮することができました。</li> </ul>					
2-2 事業効果の評価					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成23年時点でB/Cは、7.45です。</li> </ul>					
3・事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化					
3-1 事業実施による環境面への配慮					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当海岸は離岸堤による面的防護方式で越波対策を行っており、離岸堤整備による汀線の維持やそれに伴う植生等の自然環境の保全が図られています。</li> </ul>					
3-2 事業実施による周辺環境の変化					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当海岸に近接する河川も含めた海域の水質について離岸堤整備前後の比較を行ったところ、離岸堤整備による明確な傾向の変化はみられず、当事業の実施により周辺環境に大きな負荷を与えなかったものと考えられます。</li> </ul>					
4・事業を巡る社会経済情勢等の変化					
4-1 背後の防護対象の変化					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区の人口は減少しているものの、海岸背後には依然として人家が密集しており、防護の必要性は依然として高いです。</li> </ul> <p>小山浦地区人口の変化 H11 396人 → H18 364人(▲8.1%) → H23 324人(▲11.0%)          小山浦地区世帯数の変化 H11 171世帯 → H18 170世帯(▲0.6%) → H23 169世帯(▲0.6%)</p>					

## 5・県民の意見

### 5-1 アンケートの概要

- 平成23年9月 小山浦地区周辺の住民（150世帯）に対してアンケートを実施しました。（回答数140世帯 回答率93.3%）

### 5-2 安全面に対する満足度

- 「満足(11%)」+「どちらかといえば満足(47%)」が58%あり、「不満(11%)」+「どちらかといえば不満(6%)」の27%を上回る結果となりました。

### 5-3 環境面や景観面に対する満足度

- 離岸堤を整備したことによる景観への影響については、「悪くなった(16%)」+「どちらかといえば悪くなった(28%)」が44%あり、「良くなった(4%)」+「どちらかといえば良くなった(15%)」の19%を上回る結果となりました。しかし、「悪くなった・どちらかといえば悪くなった」と回答した方の75%が「防護上やむを得ない」と回答しています。
- 環境・景観面に関する総合的な満足度についても、「満足(4%)」+「どちらかといえば満足(43%)」が47%あり、「不満(6%)」+「どちらかといえば不満(16%)」の22%を上回る結果となりました。

### 5-4 利用面に対する満足度

- 当海岸を毎週利用する方は25%、月1,2回利用する方は16%、年に数回くらい利用する方は25%、利用していない方は30%でした。利用方法としては散歩・散策・夕涼みが多数でした。
- 利用面に関する総合的な満足度についても、「満足(9%)」+「どちらかといえば満足(40%)」が49%あり、「不満(7%)」+「どちらかといえば不満(12%)」の19%を上回る結果となりました。

### 5-5 総合的な満足度

- 満足(11%)」+「どちらかといえば満足(38%)」が49%あり、「不満(6%)」+「どちらかといえば不満(29%)」の35%を上回る結果となりました。

### 5-6 不満、改善を要する指摘

- 「災害に対して安心できる」という回答が50ある一方で、まだ、「災害に対して不安がある」という回答が35あり、不満な点の多数を占める結果となりました。

## 6・今後の課題等

### 6-1 事業実施上の課題・問題点

- 周辺住民の方々からはアンケートの自由回答欄において当該事業及び小山浦地区海岸の現状に対して具体的に不満な点が何点が記載されています。具体的には堤防の老朽化対策、大規模な津波に対する不安、離岸堤延伸（補強）によるさらなる安全性の確保などの意見がありました。

### 6-2 今後実施する事業への留意事項

- 小山浦地区海岸の事後評価を踏まえた今後の海岸事業の課題としては、海岸保全施設の老朽化対策、大規模な津波対策、海岸保全施設の機能確保の3点が挙げられます。老朽化に対しては、現在実施している健全度評価の結果に基づく対策工の実施を大規模な津波に対しては、人的被害の軽減を図る減災対策を海岸保全施設の機能確保には適切な維持管理の実施をそれぞれ行っていく必要があります。

# 小山浦地区海岸位置図

三重県 全域図



小山浦地区海岸 周辺図



熊野灘  
小山浦地区海岸